

Japanese Utility Model Registration No. 3041654

[Title of the Device] Container Suspender

[Scope of Claim for Utility Model Registration]

[Claim 1]

5 A container suspender wherein a suspender main
body is provided such that the suspender main body is
allowed to fit on a neck portion at a lower part of a
mouth portion of a container, and attachment portions are
provided on a rim of the suspender main body to attach a
10 suspension means.

[Claim 2]

 The container suspender according to claim 1,
wherein the suspension means is attached to the attachment
portions of the suspender main body so as to suspend the
15 suspender main body at a suitable position.

[Claim 3]

 The container suspender according to claim 1 or
2, wherein the attachment portions are in the form of
holes or protrusions.

20 [Claim 4]

 The container suspender according to claim 1 or
2, wherein the suspender main body is provided in a size
and shape such that the suspender main body is fixed by
being fitted on the neck portion, and part of the
25 suspender main body is opened with a gap that is slightly

smaller than the outside diameter of the neck portion.

[Claim 5]

The container suspender according to claim 4,
wherein the open-side ends of the suspender main body are
5 formed such that the gap between the open-side ends
increases as the gap goes from the inner periphery of the
suspender main body to the outer periphery thereof.

[Claim 6]

The container suspender according to claim 4 or
10 5, wherein the open-side ends of the suspender main body
are provided with a blocking member such that the gap
between the open-side ends is smaller than the outside
diameter of the neck portion.

[Brief Description of the Drawings]

15 [Fig. 1]

Fig. 1 is a front view of a container suspender
attached to a container.

[Fig. 2]

Fig. 2 is a side view of a suspender main body
20 fitted on a container.

[Fig. 3]

Fig. 3 is a front longitudinal sectional view of
a suspender main body fitted on a container.

[Fig. 4]

25 Fig. 4 is a perspective view of a suspender main

body fitted on a container, the suspender main body being formed in a roughly circular shape.

[Fig. 5]

Fig. 5 is a plan view of a suspender main body
5 formed in a roughly circular shape.

[Fig. 6]

Fig. 6 is a plan view of a suspender main body under pressure.

[Fig. 7]

10 Fig. 7 is a plan view of a suspender main body that is expanded.

[Fig. 8]

Fig. 8 is a plan view of a suspender main body that is fitted on a container.

15 [Fig. 9]

Fig. 9 is a perspective view of a suspender main body formed in a roughly four-sided shape.

[Fig. 10]

Fig. 10 is a plan view of a suspender main body
20 formed in a roughly four-sided shape.

[Fig. 11]

Fig. 11 is a front view showing a suspension hook.

[Fig. 12]

25 Fig. 12 is a plan view showing a blocking member.

[Fig. 13]

Fig. 13 is a perspective view showing an example of a suspension member attached to a suspender main body.

[Fig. 14]

5 Fig. 14 is a perspective view showing another example of a suspension member attached to a suspender main body.

[Explanation of the Reference Numerals]

- A - container
- 10 Aa - mouth portion
- Ab - neck portion
- 1 - container suspender
- 2 - suspender main body
- 2a - inner periphery
- 15 2b - end
- 2c - support wall
- 2d - rib
- 2e - insertion hole
- 2f - suspension portion
- 20 2g - hole
- 2h - protrusion
- 3 - suspension band
- 5 - suspension hook
- 6 - blocking member

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3041654号

(45) 発行日 平成9年(1997)9月22日

(24) 登録日 平成9年(1997)7月9日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 5 C 13/30			A 4 5 C 13/30	H
A 4 5 F 5/00			A 4 5 F 5/00	

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 13 頁)

(21) 出願番号 実願平9-2463

(22) 出願日 平成9年(1997)3月19日

(73) 実用新案権者 000139609

株式会社旭東

大阪府大阪市生野区巽南4丁目9番47号

(72) 考案者 河合 勲

大阪市生野区巽南4丁目9番47号 株式会
社旭東内

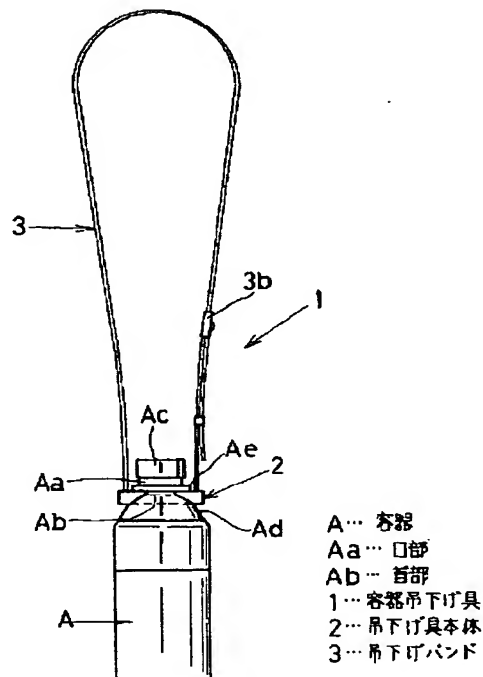
(74) 代理人 弁理士 永田 良昭

(54) 【考案の名称】 容器吊下げ具

(57) 【要約】

【課題】 容器を携帯するのに大変便利であり、喉が乾いたとき内容液を即飲むことができ、容器の着脱及び交換が容易に行える容器吊下げ具を提供する。

【解決手段】 ボトル型容器を構成する口部下位の首部周面に吊下げ具本体を嵌着固定し、吊下げ具本体に取付けられた吊下げバンドを、例えば、携帯者の首や肩に吊下げたり、ズボン、リュック、カバン等の適宜部分に吊下げて携帯するので、旅行時又は外出時に於いて、清涼飲料水、炭酸飲料、飲料水、お茶、酒類等の内容液が充填された容器（例えば＝ペットボトル）を携帯するのに大変便利であり、邪魔にならず、喉が乾いたときに内容液を即飲むことができる。容器を吊下げ携帯するので、内容液の液量確認が何時でも行え、喉の乾きを潤すのに必要な容量を確保することができる。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 容器に形成された口部下位の首部周面に対して吊下げ具本体を嵌着可能に設けると共に、上記吊下げ具本体の周縁部に、吊下げ手段を係止するための係止部を設けた容器吊下げ具。

【請求項2】 上記吊下げ具本体の係止部に、該吊下げ具本体を適宜部分に吊下げるための吊下げ手段を係止した請求項1記載の容器吊下げ具。

【請求項3】 上記係止部を、孔又は突起で構成した請求項1又は2記載の容器吊下げ具。

【請求項4】 上記吊下げ具本体を、上記首部周面に対して嵌着固定される大きさ及び形状に形成すると共に、該吊下げ具本体の一部を上記首部の外径よりも若干幅狭となる間隔に開放した請求項1又は2記載の容器吊下げ具。

【請求項5】 上記吊下げ具本体の開放側端部を、内周側から外周側に向けて幅広となる形状に形成した請求項4記載の容器吊下げ具。

【請求項6】 上記吊下げ具本体の開放側端部に、該開放側端部の間を上記首部の外径よりも幅狭となる間隔に閉塞する閉塞部材を取付けた請求項4又は5記載の容器吊下げ具。

【図面の簡単な説明】

【図1】 容器吊下げ具の取付け状態を示す正面図。

【図2】 容器と吊下げ具本体との嵌着状態を示す側面図。

【図3】 吊下げ具本体の嵌着構造を示す縦断正面図。

【図4】 略円形状に形成した吊下げ具本体の嵌着状態を示す斜視図。

【図5】 略円形状に形成した吊下げ具本体を示す平面図。

【図6】 吊下げ具本体の押圧状態を示す平面図。

【図7】 吊下げ具本体の拡張状態を示す平面図。

【図8】 吊下げ具本体の嵌着状態を示す平面図。

【図9】 略四角形状に形成した吊下げ具本体の他の例を示す斜視図。

【図10】 略四角形状に形成した吊下げ具本体を示す平面図。

【図11】 吊下げフックの取付け状態を示す正面図。

【図12】 閉塞部材の取付け状態を示す平面図。

10 【図13】 吊下げ具本体と吊下げ部材との取付け状態を示す斜視図。

【図14】 吊下げ具本体と吊下げ部材との他の取付け状態を示す斜視図。

【符号の説明】

A…容器

Aa…口部

Ab…首部

1…容器吊下げ具

2…吊下げ具本体

2a…内周縁部

2b…端部

2c…支持壁

2d…リブ

2e…挿通孔

2f…吊下げ片

2g…孔部

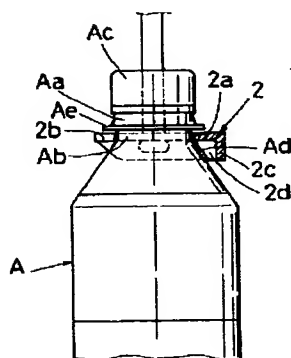
2h…突起

3…吊下げバンド

5…吊下げフック

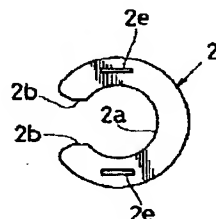
6…閉塞部材

【図2】



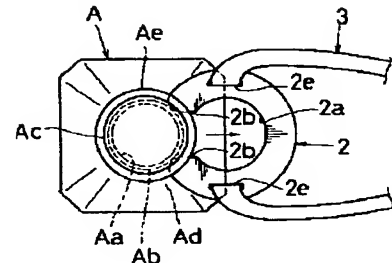
A…容器
Aa…口部
2…吊下げ具本体
2a…内周縁部
2b…端部
2c…支持壁
2d…リブ

【図5】



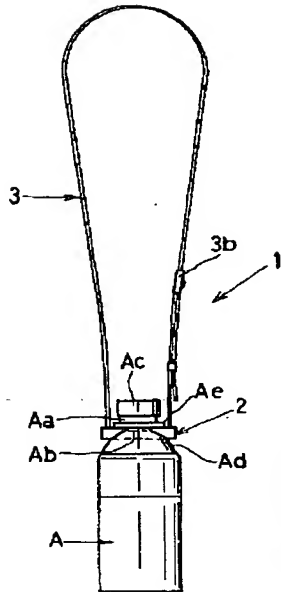
2…吊下げ具本体
2a…内周縁部
2b…端部
2e…挿通孔

【図6】



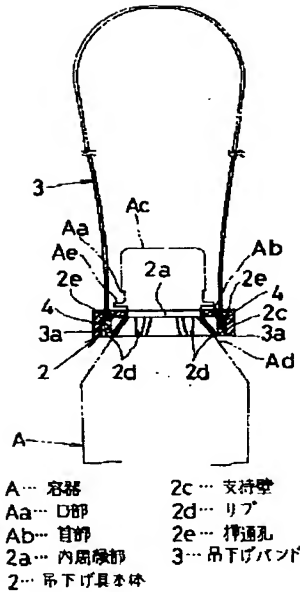
A…容器
Aa…口部
Ab…首部
2…吊下げ具本体
2a…内周縁部
2b…端部
2e…挿通孔
3…吊下げバンド

【図1】



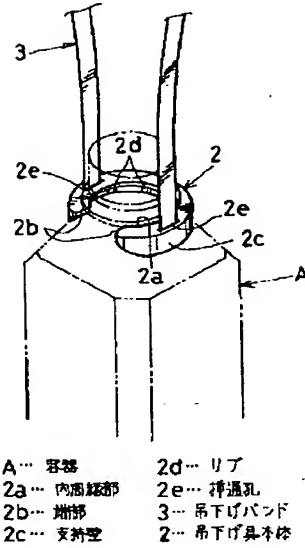
A…容器
Aa…口部
Ab…首部
1…容器吊下げ具
2…吊下げ具本体
3…吊下げバンド

【図3】



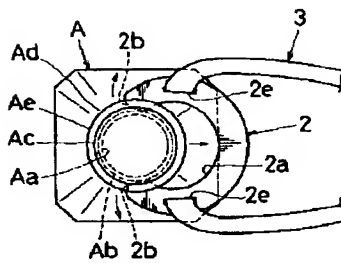
A…容器
Aa…口部
Ab…首部
2a…内周縁部
2c…支持壁
2d…リブ
2e…押通孔
3…吊下げバンド

【図4】



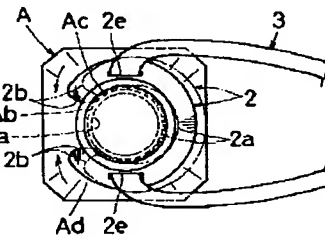
A…容器
2a…内周縁部
2b…端部
2c…支持壁
2d…リブ
2e…押通孔
3…吊下げバンド

【図7】



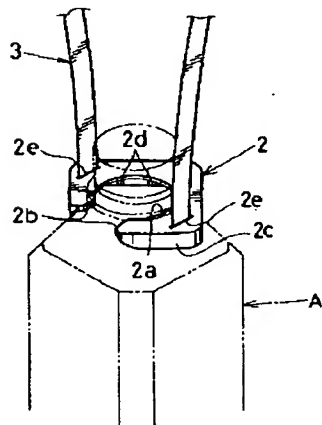
A…容器
Aa…口部
Ab…首部
2…吊下げ具本体
2a…内周縁部
2b…端部
2e…押通孔
3…吊下げバンド

【図8】



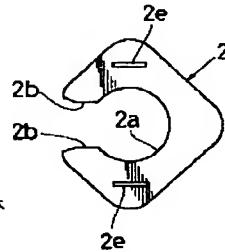
A…容器
Aa…口部
Ab…首部
2…吊下げ具本体
2a…内周縁部
2b…端部
2e…押通孔
3…吊下げバンド

【図9】



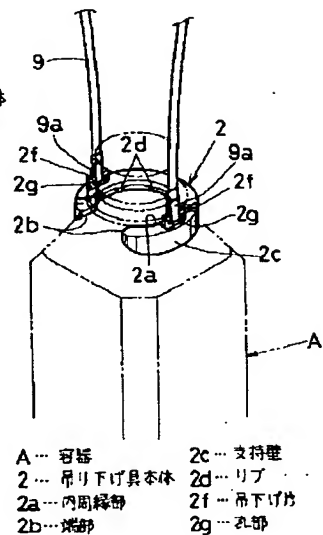
A…容器
2…吊下げ具本体
2a…内周縁部
2b…端部
2c…支持壁
2d…リブ
2e…押通孔
3…吊下げバンド

【図10】



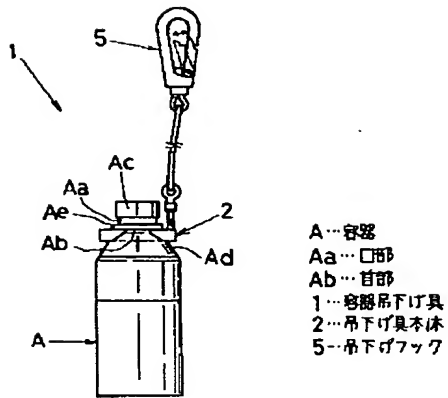
2…吊下げ具本体
2a…内周縁部
2b…端部
2e…押通孔

【図13】

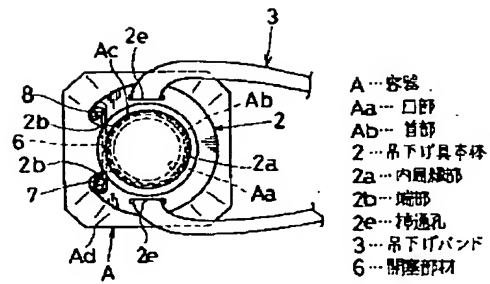


A…容器
2…吊下げ具本体
2a…内周縁部
2b…端部
2c…支持壁
2d…リブ
2f…吊下げ片
2g…孔部

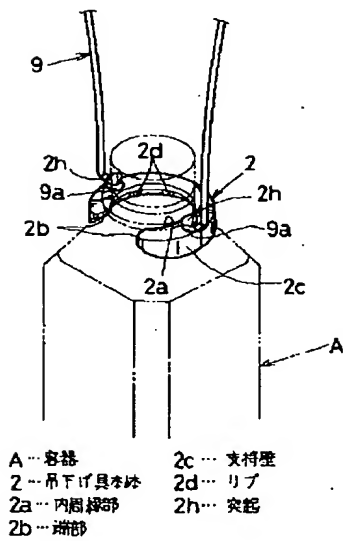
【図11】



【図12】



【図14】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

この考案は、例えば、清涼飲料水、炭酸飲料、飲料水、お茶、酒類等の内容液が充填され、合成樹脂又は金属、ガラス等で形成されたボトル型の容器を携帯するときに用いられる容器吊下げ具に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、上述例のようなボトル型の容器（例えば、ペットボトル）を手で保持して携帯した場合、喉が乾いたとき、容器に充填された内容液を即飲むことができるが、容器を保持する方の手が使えないため、通常は、衣服のポケットに入れて携帯したり、リュックやカバン等に入れて携帯する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上述した容器には、例えば、500mlサイズのボトル型容器が一般的に市販されているが、上述のように衣服のポケットに容器を入れて携帯した場合、その容器に充填された内容液の量が多く、嵩張るため、衣服のポケットに入れて携帯すると、ポケットから容器が落ちたり、ポケットが破れたりすることがあり、携帯するのに不便である。また、リュックやカバンに容器を入れて携帯した場合、容器を出し入れするのに手間が掛かるだけでなく、必要時に即飲むことができない。且つ、内容液の液量を外から確認することができないため、携帯時に於いて不足することがあり、喉の乾きを潤すのに必要な量が得られないという問題点を有している。

【0004】

この考案は上記問題に鑑み、容器を構成する口部下位の首部に吊下げ具本体を嵌着し、吊下げ具本体の係止部に係止した吊下げ手段を、例えば、携帯者の首や肩等の適宜部分に吊下げて携帯するので、旅行時又は外出時に於いて容器を携帯するのに大変便利であり、喉が乾いたとき内容液を即飲むことができる共に、容器の着脱及び交換が容易に行える容器吊下げ具の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

請求項1記載の考案は、容器に形成された口部下位の首部周面に対して吊下げ具本体を嵌着可能に設けると共に、上記吊下げ具本体の周縁部に、吊下げ手段に係止するための係止部を設けた容器吊下げ具であることを特徴とする。

【0006】

請求項2記載の考案は、上記請求項1記載の構成と併せて、上記吊下げ具本体の係止部に、該吊下げ具本体を適宜部分に吊下げるための吊下げ手段に係止した容器吊下げ具であることを特徴とする。

【0007】

請求項3記載の考案は、上記請求項1又は2記載の構成と併せて、上記係止部を、孔又は突起で構成した容器吊下げ具であることを特徴とする。

【0008】

請求項4記載の考案は、上記請求項1又は2記載の構成と併せて、上記吊下げ具本体を、上記首部周面に対して嵌着固定される大きさ及び形状に形成すると共に、該吊下げ具本体の一部を上記首部の外径よりも若干幅狭となる間隔に開放した容器吊下げ具であることを特徴とする。

【0009】

請求項5記載の考案は、上記請求項4記載の構成と併せて、上記吊下げ具本体の開放側端部を、内周側から外周側に向けて幅広となる形状に形成した容器吊下げ具であることを特徴とする。

【0010】

請求項6記載の考案は、上記請求項4又は5記載の構成と併せて、上記吊下げ具本体の開放側端部に、該開放側端部の間を上記首部の外径よりも幅狭となる間隔に閉塞する閉塞部材を取付けた容器吊下げ具であることを特徴とする。

【0011】

【作用】

請求項1記載の容器吊下げ具は、ペットボトル等のボトル型の容器を携帯するときに用いられ、容器を構成する口部下位の首部周面に吊下げ具本体を嵌着固定

して、吊下げ具本体に形成した係止部に、例えば、バンド、紐、鎖、ワイヤー、フック等の吊下げ手段に係止するので、その吊下げ手段を、例えば、携帯者の首や肩に吊下げたり、ズボン、リュック、カバン等の適宜部分に吊下げて容器を携帯することができ、旅行時又は外出時に於いて、清涼飲料水、炭酸飲料、飲料水、お茶、酒類等の内容液が充填された容器を携帯するのに大変便利であり、邪魔にならず、喉が乾いたときに内容液を即飲むことができると共に、内容液の液量確認が何時でも行える。

【0012】

請求項2記載の容器吊下げ具は、上記請求項1記載の作用と併せて、吊下げ具本体の係止部に係止された上述の吊下げ手段を、例えば、携帯者の首や肩等に吊下げて容器を携帯するので、上述と同様に容器を携帯するのに大変便利である。

【0013】

請求項3記載の容器吊下げ具は、上記請求項1又は2記載の作用と併せて、吊下げ具本体に形成した孔又は突起に上述した吊下げ手段に係止固定するので、相互の係止固定を解除するだけで、吊下げ具本体又は吊下げ手段を容易に取り替えることができ、容器のサイズに対応して吊下げ具本体又は吊下げ手段を交換することができる。

【0014】

請求項4記載の容器吊下げ具は、上記請求項1又は2記載の作用と併せて、吊下げ具本体の開放側端部を弾性に抗して強制的に拡張し、容器の首部外径よりも若干幅広となる間隔に拡張して吊下げ具本体を嵌着することで、吊下げ具本体の開放側端部が首部外径よりも若干幅狭となる間隔に復元し、容器の首部周面に対して吊下げ具本体を嵌着固定することができる。首部周面から吊下げ具本体を取り外す場合、吊下げ具本体の開放側端部を弾性に抗して強制的に拡張し、その状態まま容器の首部周面から吊下げ具本体を取り外すので、容器の着脱及び交換が容易に行える。

【0015】

請求項5記載の容器吊下げ具は、上記請求項4記載の作用と併せて、容器の首部を吊下げ具本体の開放側端部間に対して径方向に押込むことで、吊下げ具本体

の開放側端部が容器の首部周面に沿って左右に拡張ガイドされ、吊下げ具本体の嵌着がスムーズに行える。

【0016】

請求項6記載の容器吊下げ具は、上記請求項4又は5記載の作用と併せて、容器の首部周面に吊下げ具本体を嵌着した後、吊下げ具本体の開放側端部を閉塞部材により閉塞するので、携帯時に於いて、容器が脱落するのを確実に防止することができ、内容液が漏洩したり、容器が破損又は損傷するのを防止できる。

【0017】

【考案の効果】

この考案によれば、容器を構成する口部下位の首部周面に吊下げ具本体を嵌着固定し、吊下げ具本体の係止部に係止した吊下げ手段を、例えば、携帯者の首や肩等の適宜部分に吊下げて携帯するので、従来例のようにボトル型の容器を手で保持したり、衣服のポケットに入れて携帯する必要が無く、旅行時又は外出時に於いて、容器を携帯するのに大変便利であり、邪魔にならず、喉が乾いたときに内容液を即飲むことができる。且つ、容器を吊下げ携帯するので、内容液の液量確認が何時でも行え、喉の乾きを潤すのに必要な容量を確保することができる。

【0018】

しかも、吊下げ具本体に形成した孔又は突起に吊下げ手段を係止固定するので、相互の係止固定を解除するだけで、吊下げ具本体又は吊下げ手段を容易に取り替えることができ、容器のサイズに対応して吊下げ具本体又は吊下げ手段を交換することができる。さらに、吊下げ具本体の開放側端部を強制的に拡張し、容器の首部周面に対して吊下げ具本体を嵌着固定又は首部周面から吊下げ具本体を取り外すので、容器の着脱及び交換が容易に行える。且つ、容器の首部を吊下げ具本体の開放側端部間に押込むとき、吊下げ具本体の開放側端部が容器の首部周面に沿って左右に拡張ガイドされ、吊下げ具本体の嵌着がスムーズに行える。且つ、吊下げ具本体の開放側端部を閉塞部材により閉塞することで、携帯時に於いて、容器が脱落するのを確実に防止することができ、容器が破損又は損傷するのを防止することができる。

【0019】

【実施例】

この考案の一実施例を以下図面に基づいて詳述する。

図面は容器の一例として、四角形状又は円筒形状に形成されたボトル型の容器を携帯するときに用いられる容器吊下げ具を示し、図1に於いて、この容器吊下げ具1は、容器Aに形成した口部A a下位の首部A b周面に対して嵌着固定される吊下げ具本体2と、吊下げ具本体2の両側縁部に対して取付けられた吊下げバンド3とから構成され、容器Aは、例えば、P E T樹脂等の合成樹脂により四角形状又は円筒形状に形成され、口部A a外面には蓋体A cを開閉可能に螺合固定している。

【0020】

上述した吊下げ具本体2は、図2、図3、図4、図5に示すように、例えば、合成樹脂、金属等により一部を開放してなる略円形状（リング形状）に形成され、吊下げ具本体2の内周縁部2 aを、容器Aを構成する口部A a下位の首部A b周面に対して嵌着固定される大きさ及び形状に形成すると共に、その内周縁部2 aを、口部A a下段の鐐部A eの外径よりも若干小径であって、首部A bの外径よりも若干大径となる大きさ及び形状に形成している。吊下げ具本体2の開放側端部2 b、2 bを、首部A bの外径よりも若干幅狭となる間隔に開放すると共に、その開放側端部2 b、2 bの対向面を、内周側から外周側に向けて幅広となる曲面形状又は斜面形状に形成して、吊下げ具本体2を容器Aの首部A b周面に嵌着するとき、首部A b周面に沿って端部2 b、2 bを拡張される方向にガイドする。

【0021】

且つ、吊下げ具本体2の下面側外周縁部に沿って支持壁2 cを円周方向に連続して形成すると共に、下面側外周縁部と下面側内周縁部との間に、複数のリブ2 d…を円周方向に対して所定間隔に隔てて形成し、吊下げ具本体2の上面側両縁部に後述する吊下げバンド3の端部3 a、3 aが挿通許容される挿通孔2 e、2 eを形成している。支持壁2 cは、容器Aの肩部A d周面に対して当接又は近接される大きさ及び形状に形成され、吊下げ具本体2を容器Aの首部A b周面に嵌着固定したとき、肩部A d周面に対して支持壁2 aが当接又は近接され、吊下げ

具本体2の嵌着状態が安定する。

【0022】

吊下げバンド3は、例えば、合成繊維、合成皮革、合成樹脂等により扁平に形成され、吊下げ具本体2の挿通孔2e、2eに対して挿通許容される幅及び厚さに形成すると共に、吊下げバンド3の一端側に取付けたバンド止め具3bにより任意長さに可変調節可能に設けている。つまり、吊下げバンド3の端部3a、3aを吊下げ具本体2の挿通孔2a、2aに対して上方から挿通した後、図3に示すように、吊下げバンド3の端部3aに、挿通孔2aに対して係止される大きさに形成した樹脂製又は金属製の抜止め部材4を取付けて抜止め固定する。或いは、吊下げバンド3の端部3aを挿通孔2aに対して係止される大きさに結束して抜止め固定する。なお、端部3a、3aの抜止めを解除することで、吊下げ具本体2と吊下げバンド3とを分離することができ、吊下げ具本体2又は吊下げバンド3の取り替えが行えると共に、容器Aのサイズ又は容量に対応して吊下げ具本体2を交換することができる。また、吊下げバンド3に代えて、例えば、紐、鎖、ワイヤー等により容器Aを吊下げ携帯してもよい。

【0023】

図示実施例は上記の如く構成するものにして、以下、上述した容器吊下げ具1によりボトル型の容器Aを携帯するときの方法を説明する。

先ず、容器Aに形成した口部Aa下位の首部Ab周面に吊下げ具本体2を嵌着する場合、図6に示すように、容器Aの首部Abを吊下げ具本体2の端部2b、2b間に対して径方向に押込み、図7に示すように、吊下げ具本体2の端部2b、2bを首部Ab周面に沿って左右に拡張する。吊下げ具本体2の端部2b、2bを容器Aの首部Ab外径よりも若干幅広となる間隔に拡張して嵌着することで、図8に示すように、吊下げ具本体2の端部2b、2bが首部Ab外径よりも若干幅狭となる間隔に復元され、図2、図3、図4に示すように、容器Aの首部Ab周面に対して吊下げ具本体2を嵌着固定することができる。

【0024】

次に、容器Aの首部Ab周面に吊下げ具本体2を嵌着固定した後、図1に示すように、吊下げ具本体2に取付けられた吊下げバンド3を、例えば、携帯者の首

や肩に吊下げたり、ズボン、リュック、カバン等の適宜部分に吊下げて携帯するので、旅行時又は外出時に於いて、清涼飲料水、炭酸飲料、飲料水、お茶、酒類等の内容液が充填された容器Aを携帯することができる。容器Aの首部A b周面から吊下げ具本体2を取り外す場合、吊下げ具本体2の端部2 b、2 bを弾性に抗して左右に拡張し、容器Aの首部A bよりも若干幅広となる間隔に拡張して吊下げ具本体2を抜き取るので、容器Aの着脱及び交換が容易に行える。

【0025】

以上のように、容器Aを構成する口部A a下位の首部A b周面に吊下げ具本体2を嵌着し、吊下げ具本体2に取付けられた吊下げバンド3を、例えば、携帯者の首や肩等の適宜部分に吊下げて携帯するので、従来例のように容器Aを手で保持したり、衣服のポケットに入れて携帯する必要が無く、旅行時又は外出時に於いて、容器Aを携帯するのに大変便利であり、邪魔にならず、喉が乾いたときに内容液を即飲むことができる。且つ、容器Aを吊下げ携帯するので、内容液の液量確認が容易に行え、喉の乾きを潤すのに必要な容量を確保することができる。

【0026】

しかも、吊下げ具本体2の端部2 b、2 bを弾性に抗して左右に拡張し、容器Aの首部A bに吊下げ具本体2を嵌着固定又は首部A bから吊下げ具本体2を取り外すので、容器Aの着脱及び交換が容易に行える。且つ、容器Aの首部A bを吊下げ具本体2の端部2 b、2 b間に押込むとき、吊下げ具本体2の端部2 b、2 bが容器Aの首部A b周面に沿って左右に拡張ガイドされるので、吊下げ具本体2の嵌着がスムーズに行える。

【0027】

図9、図10は、一部を開放してなる略四角形状に吊下げ具本体2を形成した他の例を示し、他の部分の構成は、上述した実施例と略同一であるので、その詳細な説明を省略する。容器Aを携帯する場合、上述と同様に、容器Aの首部A b外径よりも若干幅広となる間隔に吊下げ具本体2の端部2 b、2 bを左右に拡張して嵌着固定し、吊下げ具本体2に取付けられた吊下げバンド3を、例えば、携帯者の首や肩に吊下げて携帯するので、旅行時又は外出時に於いて、容器Aを携帯するのに便利であり、上述した実施例と同等の作用効果を奏することができる。

。且つ、容器Aの首部A b外径よりも若干幅広となる間隔に吊下げ具本体2の端部2 b, 2 bを左右に拡張して抜き取るので、容器Aの着脱及び交換が容易に行える。

【0028】

この考案の構成と、上述の実施例との対応において、

この考案の吊下げ手段は、上述した実施例の吊下げバンド3と、後述する吊下げフック5と、吊下げ部材9とに対応し、

以下同様に、

係止部は、挿通孔2 eと、吊下げ片2 fの孔部2 gと、突起2 hとに対応するも、

この考案は、上述の実施例の構成のみに限定されるものではない。

【0029】

上述した実施例では、吊下げ具本体2に取付けられた吊下げバンド3を、例えば、携帯者の首や肩等に吊下げて容器Aを吊下げ携帯するが、例えば、図11に示すように、吊下げ具本体2の一側縁部に、紐、鎖、ワイヤー等を介して、キーホルダー等に用いられるような吊下げフック5を取付けてもよく、容器Aの首部A b周面に吊下げ具本体2を嵌着固定した後、吊下げ具本体2に取付けられた吊下げフック5を、例えば、スボンのベルト又はベルト通し部、或いは、リュック、カバン等に吊下げることで、上述と同様に、容器Aを吊下げ携帯することができる。

【0030】

また、図12に示すように、容器Aの首部A b周面に嵌着された吊下げ具本体2の端部2 b, 2 bを閉塞部材6により閉塞してもよく、例えば、合成樹脂、金属等で形成した閉塞部材6の基端部を、吊下げ具本体2の一側端部2 bに突設した支軸7に対して左右移動及び回転可能に枢着し、閉塞部材6の遊端部を、吊下げ具本体2の他側端部2 aに形成した突起8に対して係止可能に設けている。つまり、容器Aの首部A b周面に吊下げ具本体2を嵌着固定した後、吊下げ具本体2の端部2 b, 2 b間を閉塞部材6により閉塞して、吊下げ具本体2の端部2 b, 2 bを容器Aの首部A b外径よりも幅狭となる間隔に規制するので、携帯時に

於いて、容器Aが脱落するのを確実に防止することができ、容器Aが破損したり、内容液が漏洩したりするのを防止することができる。且つ、閉塞部材6による抜止めを解除するだけで、容器Aの着脱及び交換が容易に行える。

【0031】

なお、上述した吊下げフック5及び閉塞部材6を、略四角形状に形成した吊下げ具本体2に取付けてもよく、実施例の構成のみに限定されるものではない。

【0032】

図13は、吊下げ具本体2の上面側両縁部に吊下げ片2f、2fを突出形成し、吊下げ片2f、2fに形成した孔部2g、2gに、例えば、バンド、紐、鎖、ワイヤー等で構成される吊下げ部材9の端部9a、9aを挿通して抜止め固定又は結束固定する取付け例を示し、上述した実施例と同様に、吊下げ具本体2に取付けられた吊下げ部材9を、例えば、携帯者の首や肩等に吊下げて容器Aを携帯することができ、旅行時又は外出時に於いて、容器Aを携帯するのに便利であり、上述した実施例と同等の作用効果を奏することができる。

【0033】

図14は、吊下げ具本体2の上面側両縁部に突起2h、2hを突出形成すると共に、突起2h、2hの頭部を上述した吊下げ部材9の端部9a、9aが引抜き阻止される大きさ及び形状に形成し、突起2h、2hの基部周面に吊下げ部材9の端部9a、9aを結束固定又は巻回固定する他の取付け例を示し、上述した実施例と同様に、吊下げ具本体2に取付けられた吊下げ部材9を、例えば、携帯者の首や肩等に吊下げて容器Aを携帯することができ、旅行時又は外出時に於いて、容器Aを携帯するのに便利であり、上述した実施例と同等の作用効果を奏することができる。なお、上述した吊下げ部材9の取付け構造は、略四角形状に形成した吊下げ具本体2にも適用することができる。